

2025年1月16日

輸送動向について（2024年12月分）

1. 輸送概況

国内景気の緩やかな回復基調が続く中、輸送実績は、鹿児島線列車脱線事故や北日本地区の大雪等の輸送障害に伴う影響が見られたものの、各品目とも概ね堅調に推移し、前年を上回った。

コンテナは、エコ関連物資が、中央新幹線建設工事に伴う発生土の運搬や令和6年能登半島地震で発生した災害廃棄物の輸送等により前年を上回ったほか、紙・パルプは、ペーパーレス化の進展に伴う紙の需要減や輸送障害の影響を受けつつも、鉄道シフトや年末に向けて出荷が堅調に推移したこと等により増送となった。また、積合せ貨物は、鉄道シフトの動きが継続し増送となった。コンテナ全体では前年比102.8%となった。

車扱は、石油が、気温低下に伴う需要増加が見られた灯油やガソリン等が好調に推移したほか、セメントが、引き続き顧客工場における定期修繕の時期ずれ等により前年を上回った。車扱全体では前年比107.7%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比104.5%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,648	1,603	102.8%	13,901	13,582	102.3%
車 扱	927	861	107.7%	6,104	6,019	101.4%
合 計	2,576	2,464	104.5%	20,005	19,602	102.1%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	151	152	-0	99.5%
	化学工業品	129	129	-0	99.7%
	化学薬品	91	93	-1	98.5%
	食料工業品	275	279	-4	98.4%
	紙・パルプ	185	173	11	106.8%
	他工業品	104	106	-2	97.7%
	積合せ貨物	292	289	2	101.0%
	自動車部品	59	59	0	101.6%
	家電・情報機器	31	30	0	101.8%
	エコ関連物資	61	30	30	199.1%
	その他	267	258	8	103.2%
	コンテナ計	1,648	1,603	45	102.8%
車 扱	石油	681	641	40	106.2%
	セメント・石灰石	120	106	14	113.6%
	車 両	85	79	5	107.5%
	その他	39	33	5	117.4%
	車 扱 計	927	861	66	107.7%
合 計		2,576	2,464	111	104.5%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)